

恒例

今年の巻きずしは「ひと味」ちがう
恒例「うらどめのひなまつり」



春も間近と思わせるボカボカとした陽気に恵まれた3月4日(土)、恒例の「うらどめのひなまつり」が町浦富公民館で開かれました。浦富保育園や地元のこども達が集まった会場には、有志の方々から寄贈されたひな人形が今年も勢ぞろい。お昼には巻きずし作りも行われました。

さて、聞くところによると今年の巻きずし、今までとはちよつと違った工夫があるとか。実は畑のチーズと言われる大豆の発酵食品「テンペ」の粉を、ご飯と一緒に炊き込んでありました。こうすると旨みが増すそうで、こども達のうれしそうなお顔も納得。みんなで作った巻きずしをほおばりながら、楽しいひとときとなりました。



就任

助役に西垣英彦氏

吉田好一助役(68歳)が3月末で任期満了となることに伴い、3月の町議会定例会で次期助役の選任に同意を求める議案が提出され、承認されました。新助役には、町財務課長の職にあった西垣英彦氏(46歳)が選任されました。任期は平成18年4月1日から4年間です。

西垣氏は、昭和53年岩美町職員として採用されて以来28年間にわたり、地方行政一筋に歩んで来られました。今後助役として



町長を補佐し、町政発展にその手腕をいかんなく発揮されるものと期待されます。

受付中

この機会にぜひどうぞ
特急「出雲」メモリアル額縁
購入申し込み受付中

先月号の表紙を飾った特急「出雲」。町内でも通過時刻に合わせて、カメラを手にした方々の姿が見られました。中にはシャッターチャンスを惜しくも逃された方もいらっしゃるかも。そこで先月の表紙写真四切・254×305mm、額装済み)を2,000円で、ご希望の方にお渡しします。
【申し込み方法】4月28日(金)までに左記まで役場自立推進課

☎ 73・1412 FAX 73・1569

Eメール jiriu@iwami.gr.jp

お名前・ご住所・連絡先をお知らせください。

お渡しする時期、料金との引き換え方法等は後程ご連絡いたします。



交流

東京都武蔵野市と
「友好都市」
になりました

平成15年から、家族ふれあい自然体験等をつうじて交流している岩美町と東京都武蔵野市。都会は地方から「自然のやすらぎ」を、地方は都会の「活力」をもらいあつて互いに元気になるうというこの交流が、今年4月から本格化することになりました。

武蔵野市は、日本各地の8カ所のまちと「武蔵野市交流市町村協議会」を作り、心のふるさととして交流を行っています。岩美町も正式にこの協議会へ加わることとなったのです。今までの人的な交流はもちろん、今後は特産品のやりとりなど産業面の交流にも力をいれていきたいと考えています。



まずは春一番から岩美をPR! 4月2日の「むさしの桜まつり」へ今年も海産物を出展します。(写真は昨年の様子です。)